

令和元年度 島根県生活習慣病検診管理指導協議会各がん部会報告

●肺がん部会

開催日	令和元年度5月15日(水)
委員	①磯部委員(島根大学医学部)、②鉛谷委員(松江市立病院)③原委員(島根県環境保健公社)、④石倉委員(JA島根厚生連)、⑤青木委員(松江市健康推進課)、⑥村下委員(浜田保健所)
議題	<p>■報告事項</p> <p>(1)肺がんの死亡・罹患状況 (2)肺がん検診受診状況 (3)市町村における肺がん検診実施状況 (4)圏域がん対策推進事業実施状況 (5)精密検査実施医療機関登録事業実施状況 (6)平成30年度がん検診実施体制実態調査の報告</p> <p>■協議事項</p> <p>精密検査未受診者対策について ・平成31年度がん検診精密検査未受診者に対するコール・リコールモデル事業</p>
意見・課題	<p>①圏域別がん登録データ等、各圏域でも活用して対策に活かしてもらえるとよい。 ②肺がん検診の受診者増のため個別検診の実施を推進できるとよいが、読影体制が課題。 ③精検結果の追跡調査は県内の病院は協力いただけるが、県外(広島・鳥取)は返してもらえないところもある。 ④ソーシャルマーケティングの手法を活用し、受診案内文書の改善をすると受診率が上がる。</p>
今後の予定	<p>①圏域別がん登録データ等、市町村・保健所に情報提供する。 ②読影体制の整備について検討する。 ③精検未受診及び未把握者対策のため、モデル事業を実施する。 ④ソーシャルマーケティングの手法や受診率向上の好事例を県内担当者と共有する。</p>

●胃・大腸がん部会

開催日	令和元年度5月16日(木)
委員	①星野委員(ほしの内科・胃腸科クリニック)、②吉村委員(松江市立病院)、③足立委員(島根県環境保健公社)、④湯原委員(湯原内科医院)、⑤角委員(JA島根厚生連)、⑥青木委員(松江市健康推進課)、⑦片岡委員(隠岐保健所)
議題	<p>■報告事項</p> <p>(1)胃・大腸がんの死亡・罹患状況 (2)胃・大腸がん検診受診状況 (3)市町村における胃・大腸がん検診実施状況 (4)圏域がん対策推進事業実施状況 (5)精密検査実施医療機関登録事業実施状況 (6)平成30年度がん検診実施体制実態調査の報告</p> <p>■協議事項</p> <p>(1)対策型検診のための胃内視鏡検査の実施状況について ・大田市胃がん検診あり方検討会での検討状況について(足立委員より報告) (2)精密検査未受診者対策について ・平成31年度がん検診精密検査未受診者に対するコール・リコールモデル事業</p>
意見・課題	<p>①がん登録データと検診データを並べて、市町村毎のウィークポイントの分析ができれば、次の対策に繋がりがやすくなる。データを出すだけでなく、圏域・市町村で検討する場も必要。 ②胃・大腸がんは60～69歳で罹患する人が多いが、退職後に住民検診を受ける人が少なく、課題。 ③全員でなくても対象を絞って、個別受診勧奨していくことを各市町村で考えてもらえるとよい。個別通知文書を送るタイミングも大事。 ④胃内視鏡検査の導入にあたっては、読影体制の整備が課題。 ⑤大腸がん検診の精検で、便潜血検査の再検査をする方がおり課題。</p>
今後の予定	<p>①市町村・保健所で活用してもらえるようなデータ分析・提供をしていく。 ②職域へのアプローチを検討する。 ③ソーシャルマーケティングの手法や受診率向上の好事例を県内担当者と共有する。 ④読影体制の整備について検討する。 ⑤精検紹介状の様式に「便潜血の2回目は精密検査には当たりません」という文言を入れる。(公社対応済み。厚生連は対応について今後検討。)</p>

●子宮がん部会

開催日	令和元年度5月23日(木)
委員	①京委員(島根大学医学部)、②森本委員(森本産婦人科医院)、③入江委員(松江市立病院)、④岩成委員(県立中央病院)、⑤原委員(島根県環境保健公社)、⑥土崎委員(邑南町保健課)、⑦牧野委員(出雲保健所)
議題	<p>■報告事項</p> <p>(1)前回の「子宮がん部会」の議論について</p> <p>(2)益田市をモデルとした子宮頸がん検診受診率向上の取組報告</p> <p>(3)子宮頸がん検診の現状</p> <p>①子宮頸がん罹患・死亡状況</p> <p>②子宮頸がん検診実施状況</p> <p>・各市町村の検診実施内容</p> <p>・受診状況</p> <p>(4)がん検診精密検査実施機関登録事業実施状況</p> <p>■協議事項</p> <p>子宮頸がん検診精度管理事業について</p>
意見 ・ 課題	<p>①益田市の取組について、目に見えた成果が出ており素晴らしい。課題を決めて、限られた資源、マンパワー、予算をどのように投入するのか工夫することが大事。</p> <p>②どの市町村も大きく受診率が近年下がっている傾向はない。20～30代で、近年美郷町の受診率が下がってきており、逆に隠岐の島町は受診率が上がってきている。</p> <p>③子宮頸がん検診精度管理事業は、市町村にとっても有益であり、県全体の底上げにもなる。</p>
今後の予定	<p>①益田市の子宮頸がん受診率向上の取組について、県内担当者と共有する。</p> <p>②受診率向上の好事例を県内担当者と共有する。</p> <p>③子宮頸がん検診精度管理事業を実施する。</p>

●乳がん部会

開催日	令和元年度5月28日(火)
委員	①黒田委員(出雲市立総合医療センター)、②吉川委員(浜田医療センター)、③杉原委員(安来第一病院)、④原委員(島根県環境保健公社)、⑤三ヶ尻委員(JA島根厚生連)、⑥紀委員(浜田市健康医療対策課)、⑦片岡委員(隠岐保健所)
議題	<p>■報告事項</p> <p>(1)乳がんの死亡・罹患状況</p> <p>(2)乳がん検診受診状況</p> <p>(3)市町村における乳がん検診実施状況</p> <p>(4)圏域がん対策推進事業実施状況</p> <p>(5)精密検査実施医療機関登録事業実施状況</p> <p>(6)平成30年度がん検診実施体制実態調査の報告</p> <p>■協議事項</p> <p>(1)授乳中・断乳中の乳がん検診の対応について</p> <p>(2)精密検査未受診者対策について</p> <p>・平成31年度がん検診精密検査未受診者に対するコール・リコールモデル事業</p>
意見 ・ 課題	<p>①指針外の30歳以上のマンモグラフィー検査を実施している市町村が3町あるが、40歳以下の実施は死亡率減少効果が出ておらず見落としも増える。30代にマンモグラフィー検査をするのであればエコー検査も併用していただきたい。</p> <p>②乳がん検診の精度管理の体制は整ってきている。問題は受診率向上対策であり、特に職域の受診率向上が課題。</p> <p>③授乳中の乳腺は石灰化もありマンモグラフィー検査をしても見て分からない。母乳育児を推奨する産婦人科もあり、授乳の期間が3～4年の人もいる。</p>
今後の予定	<p>①指針に基づく検診実施の理解を深めるため、がん検診担当者会議・研修会を開催する。</p> <p>②職域への働きかけや、広域受診体制の整備等、受診しやすい環境づくりについて検討する。</p> <p>③授乳中・断乳中の対応について、断乳の予定がある方は「断乳後6か月後」と説明する。断乳の予定がなく授乳中の方の対応については杉原委員担当で今後検証する。</p>